

ウェルネスバレー医福工連携マッチング事業から製品化 介護士を熱中症などから守る温冷剤付きエプロンの実証事業を開始

大府市が平成30年度から実施しているウェルネスバレー関係機関と市内ものづくり企業のマッチング事業から、次の通り、課題解決に結びつける試作品の実証事業を開始しました。

■「温冷剤付きエプロン」の概要

実証期間／7月9日(金)～7月20日(火)
経緯／愛厚ホーム大府苑（大府市森岡町7-408）から「夏場における施設利用者の入浴時に介護士が熱中症にならないようにしたい」とのニーズが大府市に寄せられ、ニーズ解決に取り組む企業を募集したところ、三重化学工業株式会社が試作品開発に手を挙げました。

製品の特長／温冷剤付きなので、介護士の体を冷やし、熱中症対策になります。また、温めて使用ができるため、冬場の寒さ対策にも繋がります。

開発企業／三重化学工業株式会社（三重県松阪市大口町262）

事業内容：作業用手袋、保冷剤、医療機器の企画・製造・販売など

市の関与／市と連携している医療分野のコーディネーターが同社を検索するとともに、介護機関とのネットワークを構築しました。また、試作品の構造などに関するアドバイスをしました。

